

全国学力学習状況調査の結果

6年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果が分かりました。「上回っている」「やや上回っている」「同程度である」「努力を要する」の4段階で結果が示されます。

本校は、国語と算数は「同程度である」、理科は「やや上回っている」という結果でした。

国語では

「読むこと（思考・判断・表現）」「言葉の特徴や使い方に関する事項（知識・技能）」「我が国の言語文化に関する事項（知識・技能）」において正答率が全国平均より5%以上下回っている設問が見られました。このことを受けて、国語の指導にあたっては、各学年の学習指導要領に示された目標と内容を念頭において教材研究を行ったり、効果的にICTを活用したりする等、日々の授業改善に取り組んでいきます。

算数では

「数と計算（知識・技能）（思考・判断・表現）」「データの活用（知識・技能）」において正答率が全国平均より5%以上下回っている設問がありました。このことを受けて、算数の指導にあたっては、基礎的基本的な内容をさらに定着させ、思考力判断力表現力をのばしていくために、学ぶことと学ばせることを区別した授業づくりを進めるとともに、一層問題解決的な学習を推進していきます。

理科では

「生命を柱とする領域（思考・判断・表現）」において全国平均より5%以上下回っている設問がありました。このことを受けて、理科の指導にあたっては、国語同様に日々の授業改善に取り組んでいきたいと思えます。

生活面では

同時に行いました児童質問紙の結果、本校では起床と就寝の時刻が全国と比べて規則的ではないことも明らかになりました。生活リズムを保てるように指導を続けていきます。ご家庭でのご協力をお願いします。